



砂子澤富美子議員

質問①

子供のSNSについて

問 子供達のSNSについて町の考え方を教えてください。

答 SNSはスマートフォン等を通じてコミュニケーションツールとして子供達にも浸透しているが、例えば誹謗中傷や偽情報等に起因する利用者間のトラブルの他、青少年を狙った様々な犯罪に巻き込まれるリスクもあります。SNS含めスマートフォン利用は、学校ではなく保護者の管理下で行う事であり、安全に利用するには適切な設定や利用時間、使い方のルールを決める等、家庭での適切な指導が必須と考えます。

問

国内外で子供達のSNSについて様々な問題が発生しています。今後、取組の考えがあれば教えてください。

答

これまでも児童に対し、警察等の協力を得てインターネットの怖さやスマートフォンの使い方の講話、教職員による指導を行っています。保護者に対しても周知啓発資料を配付する他、学校から説明を行っており、今後もより充実させていく必要があると考えています。

問

SNSによるいじめ等が発生した場合についてお訪ねします。

答

事案が発生した場合は解決に向けて学校でも早急に対応します。常にアンテナを高くして現在も取り組んでいる所です。

質問②

冬期間の雨対策について

問

冬の雨が増加しています。特に冬の夜の雨は翌朝の冷え込みで路面が凍結する日が多様似でも何日かありました。毎年の様に事故も起こっていますが、町として対策を検討する考えや、道路維持として何か取り組む考えはありますか。

答

近年の気候変動により冬期間の降雨日が増加しており、路面凍結の影響で通勤時の事故も聞いています。冬期間の道路除雪体制は、概ね15センチ以上、又人及び車輛通行に支障が生じると判断した場合、町内業者4社に対応して頂き、主に通勤通学に必要な幹線道路を最優先に除雪を行っています。今後の冬期間降雨後の道路維持管理体制の取組につきましては、除雪体制と同様に、降雨後、路面凍結が予想される気象、車両通行に支障が生じると判断した場合、通勤通学に必要な幹線町道を最優先に、路面凍結の恐れのある急勾配区間や交差点など早期の道路パトロールを行い、路面凍結を把握した上で凍結防止剤散布などの滑り止め対策を実施、車輛の安全な走行の確保に取り組んで参ります。

問

冠水についての対策はありますか。

答

栄町の小学校へ行く道路が季節に限らず冠水しやすい場所と把握しています。新年度

答 栄町岡田架道橋を撤去し対策を検討していきたいと考えています。



▲冠水が酷い架道橋下

問

歩道の安全対策について考えを教えてください。

答

時間のずれはありますが対策しています。担当者も少ない中で全てすぐとはなりませんが、道路の維持管理としてしっかりと対応していきたいと考えています。



▲凍結の多い通学路

質問③

子育て支援について

問

子育て支援「母子モ」アプリを導入する自治体が増えていますが、様似では導入の考えがありますか。

答

令和7年度から様似町で導入する予定で準備を進めていましたが、国の動きとして今後、母子健康手帳は原則電子化される流れで、この電子化に伴い民間が開発したアプリとの連携も可能とする予定ではあります。詳細が未定です。国の動向の詳細が明らかになり、業者側が国施策との適合度合いを説明出来る様になつてから導入を決めた方が良いでしょうという結論になりました。

問

国の動向を見る事は大切ですが、様似独自の考えがもう少しあっても良いのでは。「母子モ」アプリの導入は保護者側だけのメリットではなく、職員の負担軽減にも繋がりますが、国の施策と連携が出来なければ導入は無理なのではないでしょうか。

答

こういう事は出来るといった所を導入していく方法はあると思います。他のものについても国の動向が全て決まってからという事ではなく、状況によって判断して進めていきたいと思っております。



橋爪伸恵 議員

質問①

●公営住宅における

入居者管理について

問 入居者の家賃の滞納はどのように対処していますか。

答 納期限までに納入がない場合、未納通知を送付、電話による納入催促、戸別訪問を行います。納入がない場合は督促状を送付、それでも納入がない場合は催告状を送付します。催告状には連帯保証人に通知及び明渡し請求する旨記載し、その上で納入がない場合は連帯保証人に催告状を送付します。

答 入居の際、また5年毎に連帯保証人の更新をお願いしていますか。

現在228世帯が入居中、内5世帯が連帯保証人の更新がされず、連絡が取れない状況となっています。

問

高齢者や身寄りのない公営住宅入居希望者が、連帯保証人を見つけないのが困難な場合、様似町ではどのように対応していますか。

答

親族や町内在住者に限らず、範囲を広げて確保して頂けるようお願いしています。家賃保証業者の使用も認めております。どうしても見つからない場合、条例において、町長が特別の事情があると認める者に対しては連帯保証人

を必要としないとする事ができる規定があり、入居できない事態が生じないよう努めています。

問

公営住宅の入居に際しての保証人の取り扱いについてどうお考えですか。

答

令和2年4月1日施行の民法改正により、当町においても様似町公営住宅管理条例の一部を改正しています。国土交通省より示された管理標準条例案では、保証人に関する

規定を削除し、保証人に対する考えは、事業主体の判断に委ねられ、当町では、連帯保証人制度を継続しています。

問

国土交通省の公営住宅管理標準条例の改正は、平成30年です。令和6年には札幌市でも連帯保証人の規定が条例から削除されています。公営住宅は、住宅に困窮する低額所得者に対し低廉な家賃で住宅を提供するものです。この概念にたつて国土交通省も条例上削除しています。様似町はなぜ削除したくないのかご説明ください。

答

削除したくないわけではなく、今の条例には特別な事情のある場合の規定もあり、金銭的補償、また緊急連絡先確保という面からも、今の条例でいけるのではと考えています。

問

連帯保証人の必要性は金銭的補償であり、それは貸主側の利益です。緊急連絡先について国土交通省は改正の際、かわりに緊急連絡届の提出を求めるようにしました。様似町も、連絡先の届けを徹底し

問

た方がいいのではないですか。連帯保証人が見つからないことで、入居者、入居希望者が感じているストレスを軽減するために、条例を改正し、広報等で周知して頂きたいと思っています。

答

全部廃止してはどうなのかというのがあります。入居される方の負担になっているのは確かだと思います。宿題とさせて頂き検討させて頂くのでよろしく願います。

質問②

●地域医療の

問題点について

問

住みやすい町であるために、総合病院は不可欠ではないですか。浦河赤十字病院は、満床でも赤字だそうです。病院の自助努力では経営が成り立たず、地方自治体のサポートが必要で、他町との連携、道や国への働きかけを頑張って頂きたいです。

答

病院側から具体的な要望があった場合検討していきたいと思っています。

問

浦河赤十字病院への、どのような支援が、様似町民にとつて必要または有効とお考えですか。

答

予算規模がありますので全てにおいてではありませんが、出来る限り町民の医療を確保し、維持については全力を挙げ、浦河町と一緒に取り組んでいかなければと思っています。